

## (+)- $\alpha$ -ピネン合成酵素

Cat. No. EXWM-5134

Lot. No. (See product label)

### はじめに

□明 **Salvia officinalis** (セージ) のシクラーゼIIは、ほぼ等しい量の(+)- $\alpha$ -ピネンと(+)-カンフェンを生成しますが、シクラーゼIIIはほぼ等しい量の(+)- $\alpha$ -ピネンと(+)- $\beta$ -ピネンを生成します。(3R)-リナリルニリン酸は、(3S)-リナリルニリン酸よりも酵素によって好まれて使用されることがあります。ゲラニルニリン酸の4-pro-R-水素は失われます。Mg2+が必要です (Mn2+よりも好まれます)。Pinus taeda (ロブローリ松) のシクラーゼIIでは、(+)- $\alpha$ -ピネンが唯一の生成物でした。Mn2+が必要です (Mg2+よりも好まれます)。EC 4.2.3.122、(+)- $\beta$ -ピネンシクラーゼ、およびEC 4.2.3.116、(+)-カンフェンシクラーゼも参照してください。

別名 (+)- $\alpha$ -ピネンシクラーゼ; シクラーゼ I

### 製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 4.2.3.121

反応 ゲラニルニリン酸 = (+)- $\alpha$ -ピネン + ニリン酸

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

### 保管・発送情報

保存方法 短期保存の場合は+4 °Cで保管してください。長期保存の場合は-20 °C~-80 °Cで保管してください。